

# タイ保健省標準品センター職員に対する 品質管理研修を日本で実施

## トピックス

日本製薬工業協会の国際協力事業のひとつに日本での研修生受入事業があります。平成18年9月25日（月）から3週間にわたって、タイ保健省から2名の職員を迎えて品質管理研修を実施しましたので報告いたします。

### 3週間にわたって3カ所で研修（写真1）

今回研修を受けたMs. Maytinee limsiriwongとMs. Siriphorn Laomanacharoenの2名はタイ保健省医療科学部医薬麻薬局（BDN）で医薬品、原薬、中間体等化合物の分析および品質管理を担当しています。

今回は9月25日から10月16日まで、アステラス製薬株式会社原薬研究室（大阪府）、製剤分析研究室（静岡県）および生産子会社であるアステラス静岡株式会社富士工場（静岡県）の3カ所で、LS-MS分析・Chiral HPLC分析・質量分析・LIMS品質情報システム等について講義と実習を通じて研修してもらいました。お二人は熱心に研修に臨まれ、研修中には多くの質問や研究員との意見交換が行われました。休憩時間にも図書館で調べ物をしていました。また、LIMS品質情報システムについては将来、導入計画があることから強い関心を持っていると

質問がありました。

### 日本文化も体験（写真2）

研修期間中は歓送迎会で居酒屋文化を、また研修先の社員有志の配慮で茶道を体験したり、休日には近郊の観光名所に連れて行ってもらう機会もあり、日本文化等にも触れることができ、日本滞在を有意義に過ごしていただけたものと思います。

今回の研修は場所が3カ所に分かれたことから、東京－大阪－静岡－東京と移動距離が長かったのですが、お二人とも研修期間中に体調を崩すことなく、予定された研修メニューをすべて受講できました。今回の研修がお二人の今後の業務に役立つことを期待するとともに、日本の製薬会社が国際貢献に少しでも寄与できたことを嬉しく思います。

（国際委員会アジア部会 関 信吾）



写真1 研修風景。手前はMs.Maytinee、その隣りがMs.Siriphorn



写真2 茶道体験。左がMs.Maytinee、右がMs.Siriphorn